

解説

将来についての討論もする
参加者相変らず少い

総会への参加会員の少いことは、從来から強調されており、今年度の総会もこのことが危惧され、依然として低調であった。

司会は井手教授。ご病気の鈴木

五郎会長に代って大槻文郎副会長が開会の挨拶を行い、ついで会務報告に入った。まず庶務担当常任理事小林教授から、常任理事会の経過、学内支部の結成および役員の決定について報告があり、さらには来年度に予定される役員改選について、選出に関する具体的な方針を希望する旨述べられた。

次いで医師会の緊急協議事項のため欠席された小林金平会計担当常任理事に代って、常任理事三輪教授から会計報告があり、とくに会費収入が大幅に増えたこと、名簿発行による事業収入もかるかと予算を上まわったことを強調され、会員各位の協力に対する感謝がされた。四十一年度予算が承認されたあと、事業担当常任理事鈴木(次

)教授から、会報発行の現況、地番改正による補充訂正名簿の発行、および前年度より懸念となつて来た顧問費の使途についての提案がなされた。

このあとこの一年間の同窓会関係物故者十六名に対し、默祷が行なつて、いた顧問費の使途についての提案がなされた。

議論は先立ち議長の選出がなされた。大槻副会長が選ばれたが、大

槻副会長は三十一年度役員の補充と四十三年度役員の改選について、その選出方法について執行部と会員の間で多少の意見のくいちがいがあつた。次期選までの一年間である。四十一年度役員改選について、その選出方法について執行部と会員の間で多少の意見のくいちがいがあつた。

議論が白熱した。松本常任理

事および、数馬委員の説明では理

事の選出は各支部よりの推薦を重

んじ、評議員は各クラスからの代

表とするというが骨子であった

が、これに対して鈴木氏、佐藤氏

などから、クラス会代表を理事に

することが要望され、これをめぐ

て激しい意見の交換があつた。

次に各クラスの代表に依

るとして評議員を推薦してもらう。

推薦された評議員が全部出そろ

ったところで、これを支部別に区

分けして支部長宛連絡する。(3)理

事は支部推薦によるが、本部から

連絡のある評議員のうち、少く

とも一乃至數名を含むよう卒業年

度を勘査して支部割当の理事を推

薦するより配慮する、といふ手順

で評議員会がほとんど開かれていな

きな姿勢で会は終了した。しかし

この実行は執行部に一任された

が、理事配分の都合上、および年

々員が増加することなどから、

理事会は從来の八十名から百名に

とするとより余裕が改められること

となつた。

評議会の第一回は同窓会活動の振興

についてで、同窓会運営に

よつて強調された。また支部が

そのものについて、同窓会運営に

よつて強調された。これは同窓会

運営は從来の八十名から百名に

とするとより余裕が改められること

となつた。

評議会がほとんどの開かれていた

ところまで、これが支部別に区

分けして支部長宛連絡する。(3)理

事は支部推薦によるが、本部から

連絡のある評議員のうち、少く

とも一乃至數名を含むよう卒業年

度を勘査して支部割当の理事を推

薦するより配慮する、といふ手順

で評議員会がほとんどの開かれていた

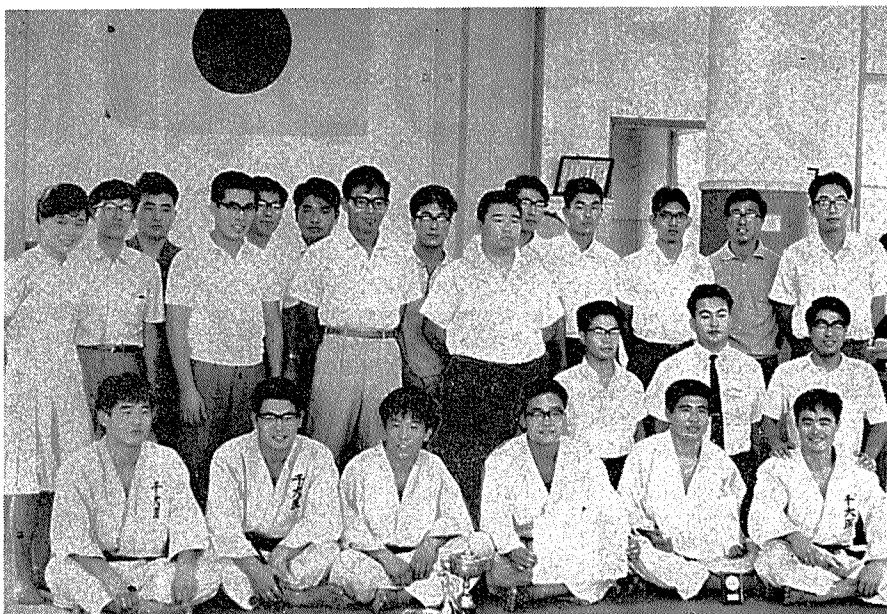
ところまで、これが支部別に区

分けして支部長宛連絡する。(3)理

事は支部推薦によるが、本部から

連絡のある評議員のうち、少く

とも一乃至數名を含むよう卒業年



柔道部、堂々二連覇

記念撮影

柔道部は試合後、先輩と選手達の写真を撮影した。

轟君優秀選手に

各部大会成績

男子	三位決勝戦	千葉3-4慶應
女子	決勝戦	千葉1-2福島
軟式庭球部	三位決勝戦	千葉2-1信州
男子	四位	千葉三位
女子	四位	千葉三位

柔道部	決勝戦	千葉4-1東邦
剣道部	準決勝	千葉3-4東北
バドミントン部	予選リーグ敗退	千葉3-3順天
バレーボル部	予選リーグ敗退	千葉4-5昭和
バスケットボール部	予選リーグ敗退	千葉2-2北大

スナップ	三位決勝戦	千葉4-5昭和
サッカーチーム	一回戦	千葉2-2北大
三共株式会社	結果であるが、ヨット部、柔道部、総合結果、優勝千葉	成功であるが、ヨット部、柔道部、総合結果、優勝千葉
三共株式会社	三位決勝戦	千葉4-5昭和

轟君優秀選手に

第十回東日本医学生総合体育大会夏季大会は、七月二十五日より五日間にわたって開かれた。本学は各競技において活躍し、柔道部、ヨット部は優勝し、総合成績で慶應大学を大きく引きはなし、二年連続五度目の優勝を飾った。

柔道・ヨット優勝する 一年連続・五度目の総合優勝

主 催
横浜市立大

第十回東日本体育大会



ヨット部
夏のスポーツの一つ、ヨット競技は、江ノ島ヨットハーバーにおいて、二十七日開かれた。参加校十一校であり、本学はティンギーでは三位であったが、スナイプで一位となり、総合結果で東大を破り優勝した。
普段からの練習の激しさで名を売っているだけあった。

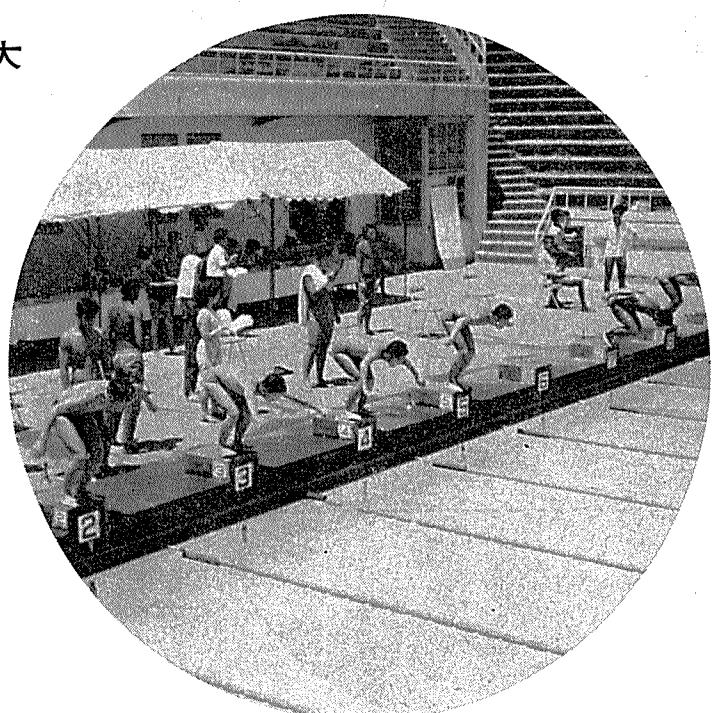
【写真は潮風をうけて走る本学ヨット】

大いに健闘

ヨット部

夏のスポーツの一つ、ヨット競技は、江ノ島ヨットハーバーにおいて、二十七日開かれた。参加校十一校であり、本学はティンギーでは三位であったが、スナイプで一位となり、総合結果で東大を破り優勝した。
普段からの練習の激しさで名を売っているだけあった。

【写真は潮風をうけて走る本学ヨット】



来年を期し 水泳部

ヨットと並んで、夏のスポーツの水泳競技、普段練習する場所をもたない水泳部、本学には一年中練習する施設をもっていない。夏休み合宿などして、強化しているのである。今大会では、負けはしたがその健闘は大いに賞賛すべきである。

来年の活躍を大いに期待する。

【写真は野毛山プールにて】



ついにわが国でも完成した
V.B₁+V.B₆+V.B₁₂高単位合剤
ヨーロッパで、神経機能回復に貢献されているV.B₁・
B₆・B₁₂の合剤がわが国にも登場しました。
すでに定評あるビオタミンをはじめ、V.B₆・B₁₂を高
単位に配合した強力な製剤です。
神経系疾患、リウマチ性疾患、無力症、各種貧血の治
療に、ユニークな効果をご活用ください。

●神経機能賦活剤

ビタミンB₁₂
(1カプセル中:ビオタミン25mg/V.B₆25mg/V.B₁₂250μg)
包装 500カプセル 1,000カプセル

一錠中
唾液腺ホルモン5mg含有
～120錠

帝国臓器
東京・赤坂

組織を強くする
好機です……
40才をすぎて衰えを
感じた方：パロチン
目・歯・胃・感染に対抗する組織な
ど体の重要な組織を強くする。唾液腺
の補給作戦をはじめ
ホルモンです。

パロチンは骨・関節・筋肉・血管・
目・歯・胃・感染に対抗する組織な
ど体の重要な組織を強くする。唾液腺
の補給作戦をはじめ
ホルモンです。

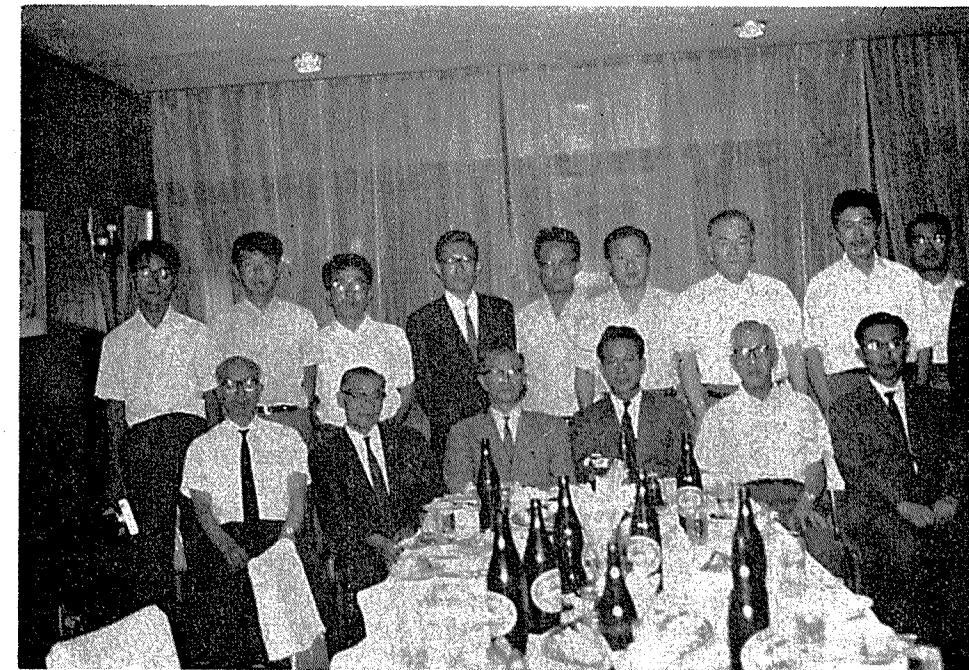
春

八月四日、天王寺ステーションビル内都ホテルの一室で、大阪・奈良支部の全員十六名の参加のもと、支部会が開かれた。遠地のため卒業後千葉を訪問された人も少なく、おみやげに持っていたアルバムを見、大学の変り様また千葉市の変り様にただ驚きの声を発するのみの先輩もいた。

特集 支部材訪旅行

終始歓迎のうすにつつまれ きびしい本部への批判も出る

8月新聞部員は、関西、長野、茨城・福島の3つのグループを作り、支部訪問取材旅行にいった。この計画は昭和40年にも平賀一郎部長を長として、同窓会費未納者の集金を兼ねて行われたが、本年は集金はせずに純に取材旅行を、圓田俊雄部長を長として、6月に計画された。各グループには同窓会本部関係の先生方に同伴ねがった。関西は萩原弥四郎脳機能研究施設教授、長野、井出源四郎脳癌研究施設教授、茨城・福島、数馬欣一小児科学講師であった。訪問した支部は、関西(京都支部、大阪・奈良支部、神戸支部)長野(長野支部<松本地区、長野地区、上田地区>)茨城・福島(取手、土浦、水戸、会津若松、福島)を訪ねた。



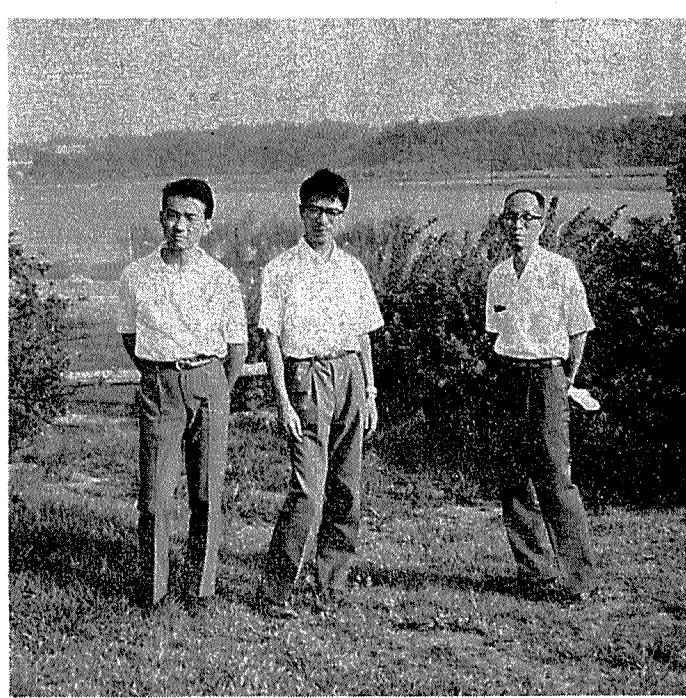
昔話に花が咲いて 神戸支部会

八月五日神戸市の神戸湾を眼下に六甲の山波を見渡たせる、三の宮二ユーポートホテル十六階のスカイラウンジで、一時より神戸支部会が、八名の参加のもと開かれた。参加して下さった先生方の内に若い卒業生の方はいなかったので、終始、昔話に花が咲いて、座の開くようなことは一度もなかった。心中事件のこと昔の学生の生活、遊び、教室の様子など若いわれわれ編集部員は聞くものすべてがめざらしかった。でも、そんな内にも、現存の学校、学生にきびしい批判と建設的意見が出された。

機動力を利用し 茨城・福島支部

茨城・福島方面は、車で取材に出発したので、機動力があり、多くの先輩方を訪問出来たのである。

水戸では数馬欣一講師の研究の「小児X線診断」について講演した。なにせ、夏の日にさかれた車の内に汗ばむほど閉口した。先輩宅に着いて出される冷たい飲み物は生きた気持ちがする。



下痢!
便秘!

【適応症】

腸内異状醜態による急性・慢性カタル・下痢、便秘、腹痛、緩便、細菌性下痢、感覚性下痢、小乳幼児の発育促進、小児ストロフルス、尋麻疹、湿疹、栄養障害、消化不良、抗生素薬療法化学療法後の整腸

活性ビフィズス菌製剤

テラリビ
化学療法後の整腸



本社 東京都中央区日本橋1丁目5番地
電話東京(272) 8741(代)
医薬品営業部 東京都中央区築地3-10

毎週土曜日発行

六三定B
カカ
5
月刊
二一部
数
〇九〇
〇〇〇
円円頁

送送料
料料
共共円

100,000 医人の週刊医学雑誌

日本医事新報

清新潔刺・充実無比

「学説」「学会印象記」「画報」「MEDICAL ESSAY」「時論」「ニュース」「一週一話」「私の考え方」「質疑応答」「閑窓夜話」「東銀座だより」「医事案内」其の他

株式会社 週刊日本医事新報社

東京都千代田区神田駿河台二ノ九
TEL (292) 1551 (代表) 振替 99169番

最も親切なる
臨床医家のお伴侶

また千葉市の姿の様にただ驚きの声を発するのみの先輩も数人いた。
会はまず、石田俊孝支部長のあいさつに始まり、萩原称四郎教授の同窓会の現状報告、編集

学問的支部会

大阪・奈良支部会

部よりの新聞発行についての説明と続いた。また、石田俊孝先生の人間科学の分子科学についての話など興味深い話があった。京都大学よりのアカデミ賞などの受与もされていて、この会では、地方にも本学出身の先生方が広く活躍していることが分かったことは大きな収穫であった。

最後に、志賀勇先生のヨーロッパ旅行の、芸術・美術品のスライド勉強会が行なわれ、芸芸大内に、四時過ぎに閉会した。



白石委員藤原副委員長に決る

本年ののはな祭を開くことになったのは六月の代議会で決った。その後、すぐに白石明男(学三)委員長、藤原良子(学三)副委員長が決った。現在スタッフも決り、順調に準備が進んでいる。

白石明男の祭委員談
我々学生の間でよく大学祭を行なうに当って問題になるのは、その意義は何と云つていいのである。

一般には三つの考え方がある。一つは純粹学問的に学生の日頃興味ある問題を研究し、それをこの機会に発表展示する。二つは発表を至るまでの研究的過程を重視します。第三には学生生活の楽しみの中の、一つの大好きなボーリーとして、極端に言うなら、何が一ニバル的に祭りの面を強調し、大々的に若者の熱気を燃発させる。第三には医学部の特殊性ということから、医学を

通じての千葉という地域社会への啓蒙と市民との結びつき。これら三つを満たしたもののが出来た時に、完全な大学祭と言える

のだろうか。それとも過ごのうちの一つに目標を終ることが、目的の瞬間でない、一色に塗りつぶされた整然とした大学祭になるのだろうか。

しかし、それはそれとして私自身の考え方によれば、本来意義とは一人一人が見出すものであり、各人各人が異つても不思議ではない。むしろ大きな差異があるに違ひはない。むしろ思っている。それに

今度の大学祭で多くの学生が最も懸念していた資金面では、昨年までの先輩方からの寄付を仰ぐと、いかに改め、後援者から援助を主にして、十分でないまでもこの範囲内で可能な大学祭を行うことにいたしました。

今年度の大学祭で多くの学生が最も懸念していた資金面では、昨年までの先輩方からの寄付を仰ぐと、いかに改め、後援者から援助を主にして、十分でないまでもこの範囲内で可能な大学祭を行うことにいたしました。

一方、卒業試験の方も、臨場実習が、一月まで続るので、口答試験は、臨場実習についているから

次に卒業祭は毎回西千葉と合同で行っていたのですが、本年は先生方の御賛見などもお聞きして

一月には、三輪部長、OBを迎えた総会。二月には、綾五郎、外洋ヨット一艇を持って来ました。また、百二十名からいるOBとの結びつきは強く、「くわんじ」といふ名前を、水上部より千葉医大ヨット部改め、新規定したのである。二十七年、関東学生ヨット部として、生まれ変わった。二十八年、第一生理學福田篤郎教授が、一代目部長に就任。その間、外洋ヨット造船運動が起り、新たに他学部及び看護学校生徒を加え、千葉大学ヨット部として、生まれ変わった。二十九年、第二内科三輪清三教授を代目部長として迎え、現在に至っている。その間、三十八年、関東学生ヨット選手権三部戦に於いて優勝し、念願の部突入を果した。四十年には、東工大、水産大と対戦を組み入れ、その後、都立大、横市大、成蹊大が生ヨット新入戦並びに大学戦の合宿を十日間開催され、その後、都立大、横市大、成蹊大が

見出せるものではないと思うし見出せたからと云つて、それが実際にどれほど行動のエネルギーとなるかは疑問に思う。

意義を確認してのはな祭に参加して否定しようとは思わないが、意見が分らないからと云つて参加しない方々に一言云いたい。……とにかくやってみませんか……

やっているうちに学生相互の理解と接觸を通して、必ず得るものがあるのです。こののはな祭を人間ひととそれそれが意味あるのです。こののはな祭を人間ひととそれそれが意味あるものとされることを切望しています。

さて、臨床実習に至りました。七名のルートで一週間単位で各科をまわる

医師法改正により、インター

リキュラム変更がなされるが、いづれにせよ、臨場実習がボリューム

といつた形でなく入ってくるのであります。残念ながら、線学校の参

加で取止めました。

展示では、例年別々に行な

る看学と同一テーマについて共同

が廢止され、卒後すぐは全国試験による看学と同一テーマについて共同発表の形を採ってみました。今迄のようだ時と所を同じくするだけの寄合展示を、いつも味気なく感じていたので思い切って試みただけです。残念ながら、線学校の参考になりました。十一年より午後の時間す

べて、臨床実習にした。七名のルートで一週間単位で各科をまわる

医師法改正により、インター

リキュラム変更がなされるが、いづれにせよ、臨場実習がボリューム

といつた形でなく入ってくるのであります。残念ながら、線学校の参考になりました。

一方、卒業試験の方も、臨場実習が、一月まで続るので、口答試験は、臨場実習についているから

次に卒業祭は毎回西千葉と合同で行っていたのですが、本年は先生方の御賛見などもお聞きして

一月には、三輪部長、OBを迎えた総会。二月には、綾五郎、外洋ヨット一艇を持って来ました。また、百二十名からいるOBとの結びつきは強く、「くわんじ」といふ名前を、水上部より千葉医大ヨット部改め、新規定したのである。二十七年、関東学生ヨット部として、生まれ変わった。二十八年、第一生理學福田篤郎教授が、一代目部長に就任。その後、都立大、横市大、成蹊大が

見出せるものではないと思うし見出せたからと云つて、それが実際にどれほど行動のエネルギーとなるかは疑問に思う。

意義を確認してのはな祭に参

加して否定しようとは思わないが、意見が分らないからと云つて参加しない方々に一言云いたい。……

とにかくやってみませんか……

やっているうちに学生相互の理解と接觸を通して、必ず得るものがあるのです。こののはな祭を人間ひととそれそれが意味あるものとされることを切望しています。

さて、臨床実習に至りました。七名のルートで一週間単位で各科をまわる

医師法改正により、インター

リキュラム変更がなされるが、いづれにせよ、臨場実習がボリューム

といつた形でなく入ってくるのであります。残念ながら、線学校の参考になりました。

一方、卒業試験の方も、臨場実習が、一月まで続るので、口答試験は、臨場実習についているから

次に卒業祭は毎回西千葉と合同で行っていたのですが、本年は先生方の御賛見などもお聞きして

一月には、三輪部長、OBを迎えた総会。二月には、綾五郎、外洋ヨット一艇を持って来ました。また、百二十名からいるOBとの結びつきは強く、「くわんじ」といふ名前を、水上部より千葉医大ヨット部改め、新規定したのである。二十七年、関東学生ヨット部として、生まれ変わった。二十八年、第一生理學福田篤郎教授が、一代目部長に就任。その後、都立大、横市大、成蹊大が

海の男の逞しさを

東日本大会でも4度優勝

ヨット部

海の男の逞しさを

東日本大会でも4度優勝



お茶の水

当地の千葉氏が、お茶会を開いて東京湾をまわって、千葉に来た際に使用し、この名がある。その後周囲の様子は時代と共に変った。丹後の堰も、戦後もなく暗渠となり、都川も、いつしか魚の住めないほど汚れ、亥鼻山にはコンクリートの城が出来た。しかし、時は流れても、人の心は變らぬか七三のお参りする人の姿を見る。

時代の流れは、さらに残酷であるようだ。近く道路拡張のために数十メートルも塗方をきかれるようである。お茶の水は今日が車の排気ガスの中に静かに水を流している。

古稀になつてもまだ

七葉会盛大に開かる

七葉会とは、大正七年千葉医專卒業の同級会の名称である。聞けば昭和七年卒の同級会も同じ名称をつけたそうだが、これは正に第二十七葉会とも言つべきものじよ。吾等は戦前も時々会をやつておつたが、戦争で一時中絶し、その後昭和二十年以来は殆んど毎年一回位の割で会を継続しておる。幹事は輪番制で、千葉・埼玉・山梨などで当番幹事の趣向によつて開かれて來たので、いつも愉快な集りであった。

今年は東京の番であったので、風光明媚とか郷土趣味とかを味わう事はできなかつたが、明治生れな一室で開いた。卒業したのが四十九年前の五月十五日、今度の会が五月十四日の日曜日、これは正に記念日とも言える。

千葉・埼玉・山梨・静岡などの近県からの常連に、珍しく北海道から一人来て皆で十一人であつた。在学中の恩師は皆物故せられたので御招待の術はない。定刻前からボソボソ集まり、皆揃つまで

七葉会とばかりの通信を交換し回覧したり、色紙に寄せ書きをやつたり(これは一枚宛持ち帰つたり)、記念の写真を撮つたりして一しきり懐旧談や、諸君の消息、動静の情報を話し合つたりしておる。中で、開宴すると、話は医政問題、一般政治問題、事局問題等で

久保田東京のほな会総務の司会で開会し、出席予定者名簿の作成により出席者八十名、返事をくださった三百六十八名、返事も出さない人約四百名いる事を発表し、約七百五十名の会員を擁している

新松本病院長が、早々と御来臨された事に深く感謝された。

次いで報告に移り、久保田総務理事が昨年十一月二十六日の総会に決めたり、歓談はいつ果てるといつておられた。来年は明治百年である。年令はまだまた懇親録なものであつた。来年は明治百年であり、吾等にとっては卒業五十年である

これでは会の運営が思うようにならないから、各会員の絶大な御協力を要望していた。

次いで議長、副議長の選出があり、司会者一任の声あり、昭和三年卒の眞光先生(先日脳溢血で手術を受けた由にも拘らず御元氣)が議長に、大野俊夫先生が副議長に選出され、議事に入り、第一号議案として、東京都のほな会から本部に理事者の補欠選を行い、その方法により議長が会員に正した所議長一任の声あり、よつて次の先生方が選出された。

猪の口貞雄、筒井栄、内田佐造、船田宗之、田久保謙、三浦隆蔵、久保田正助、若山晃、長尾透、中村脩(敬称略、顕不同)

次に第一号議案として、東京のはな会会則第十七条により本会に顧問名譽会員を推薦することができるという余文により、顧問に、佐々木先生、猪井規雄先生、河合次先生を推すことに決定、万

名會員には、元教授で東京在住の田坂定孝先生、詫屋武人先生、佐々木先生、猪井規雄先生、河合次先生を推すことに決定、万

次に新進気鋭の萩原教授の講演があつた。

写真は、当日の様子と寄せ書き

若さと健康にあふれて

東京のほな会

七人であつたものが、昭和六年までは十九人、さらには今春までに二十人だけである。日本人の平均寿命が戦前五十才になり、残りは十九人だけとなつた満たなかつたが、最近七十才に

その中九人は病床に住んで健健康達するようになったことと思ひます。それで、感概一入のものがある。蛇足を付してお便りとします。

中島静天記

物故会員名

及川邦佐(明三十九年卒) 大谷甫(昭八年卒) 町田煌(昭十三年卒) 菊地伝次郎(大五年卒) 桜井鉢(明四十年卒) 大塚儀(明三十七年卒) 菊井鶴(昭四十年卒) 萩須齊(明四十年卒) 長倉保(明四十一年卒) 松村武雄(大六年卒) 以上昭和四十二年八月より昭和四十二年八月まで、十六名。

林弁(大十一年卒) 有馬純一(大十三年卒) 久米利雄(昭八年卒) 平岡斧助(明三十九年卒) 佐久間浩(昭十二年卒) 広瀬興(大七年卒)

及川邦佐(明三十九年卒) 大竹次郎(大正十四年卒) 町田煌(昭十三年卒) 菊地伝次郎(大五年卒) 桜井鉢(明四十年卒) 大谷甫(昭八年卒) 有馬純一(大十三年卒) 久米利雄(昭八年卒) 平岡斧助(明三十九年卒) 佐久間浩(昭十二年卒) 広瀬興(大七年卒)



オーストラリア
サザンクロスラリーFクラスで優勝

1000cc/55ps

三菱自動車販売(株)特約販売店

千葉三菱コルト自動車販売株式会社

千葉市都町255 TEL 千葉(27)7131(大代表)



[営業所・市川(25)2101 木更津2141 東葛(柏66)6151]